

## メキシコ – 政策金利を据え置き –

### <政策金利を3.75%に据え置き>

メキシコ中央銀行は5月5日（現地時間）、政策金利を3.75%に据え置くことを決定しました。

声明では、メキシコペソとインフレの影響を注意深く見ていく姿勢を示しています。インフレについては、今年は3%程度の見通しとし、更なるメキシコペソ安はインフレリスクになるとの見方を示す一方で、需要サイドからのインフレ圧力は見られないと述べています。

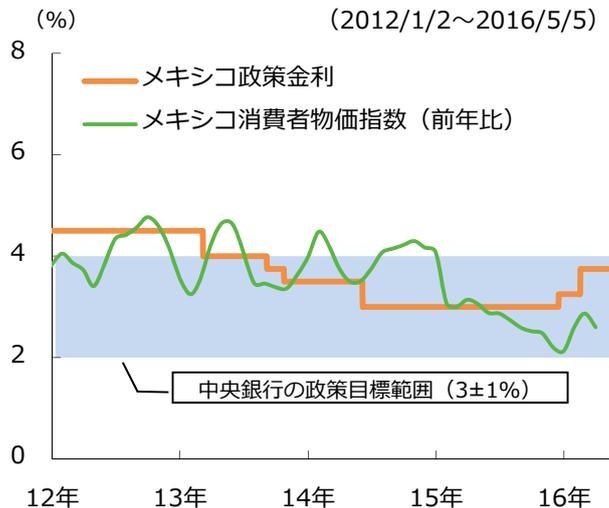
メキシコ中央銀行は、メキシコの通貨と物価見通しに大きな影響を与える米FOMC（連邦公開市場委員会）の動向を注視しています。4月28日のFOMCでは、金融政策の現状維持が決定されました。そのため市場では、メキシコ中央銀行も政策金利を据え置くと予想されていました。

### <今後の見通し>

メキシコ経済はこれまでの原油安の影響を受けてエネルギー関連産業の低迷が予想されるものの、4月に発表された2月小売売上高が市場予想を上回る前年比9.6%増となるなど、堅調な個人消費が経済を下支えるものとみられます。また、堅調さを維持する米国との結びつきが強い自動車産業などがけん引役となり、今後のメキシコ経済は底堅く推移するものと思われれます。

為替については、足元で日銀のマイナス金利政策に対する懸念や日本政府による為替介入の可能性を疑問視する向きから円買い圧力が強まっていることに加え、メキシコに対して厳しい政策を支持するトランプ氏が共和党の米大統領候補として確実視されるなど、メキシコペソ/円には厳しい展開が続いています。一方、米国の年内利上げ見通しが年2回程度と示されるなど極めて緩やかなペースにとどまることが見込まれるなか、足元では中国経済に対する過度な悲観は後退し、原油価格が上昇基調をたどるなど、メキシコペソ相場を下支える環境が整いつつあります。また、メキシコ中央銀行は、メキシコペソの更なる減価には為替介入を辞さない強固な姿勢を保持しており、メキシコペソ/円の下値は限定されると思われれます。

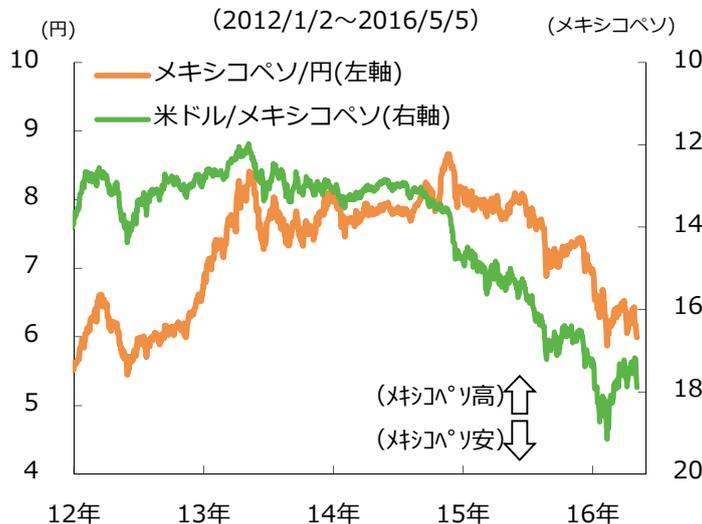
### <インフレ指標と政策金利の推移>



\*政策金利は発表日ベース

\*消費者物価指数（前年比）は2012年1月～2016年3月

### <メキシコペソ為替の推移>



出所：Bloomberg

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会